

## 〔 競 技 注 意 事 項 〕

- 1 本大会は2023年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会競技要項によって行う。また、小学生については、友の会ルールを適用する。本大会は、日本陸上競技連盟公認競技会として実施するが、ワールドアスレティックス(WA)のワールドランキングコンペティション(WA k対象競技会)としては実施しない。そのため、競技会でも出された記録は国内の公認記録として認められるが、WAワールドランキングや国際大会(オリンピック・世界選手権など)の参加資格など、WA記録集計の対象とはならない。
- 2 スタートは英語で行う。スタートは国内ルールを適用する。
- 3 競技場への入退場について
  - ・大会7日前から検温し体調の変化の有無を確認しておくこと。当日の自宅での検温が37.5度以上の者は、入場(参加)を認めない。
  - ・競技場への入退場は随時可能である。
  - ・競技場内では競技役員の指示に従い、身体的距離を確保する。
  - ・観戦については正面スタンドおよび芝生スタンドのみ可とする。
- 4 アスリートビブスについて
  - ・競技者は必ずアスリートビブス(規定のもの)を胸・背部に確実につける。ただし走高跳、棒高跳は胸・背いずれか一方でもよい。走幅跳・三段跳は胸につけるだけでもよい。
- 5 招集について
  - ・すべての種目において、競技時間表記載の招集時間に招集所(100mスタート地点付近の3・4番倉庫)にて招集を受ける。
  - ・招集完了時刻に遅れた競技者は欠場するものとして処理する。なお、他の出場種目の競技時間の関係で招集時間に招集を受けることが難しい場合は、事前に招集所に申し出る。
  - (1) トラック競技
    - ・400mまでの距離種目(スタートからフィニッシュまですべてセパレートレーンで行われる種目)については、腰ナンバー標識は使用しない。それ以外の種目については該当の腰ナンバー標識を招集時に受け取る。
    - ・5000mと5000m競歩については、腰ナンバー標識とともに胸用(5000m・5000m競歩)と背中用(5000m競歩のみ)のビブスも受け取る。
    - ・腰ナンバー標識および胸・背ビブスを使用する種目に出場した競技者は、フィニッシュ後直ちに、腰ナンバー標識および胸・背ビブスを係員に返却する。
    - ・リレーについては4人揃って招集を受ける。リレーオーダー用紙は招集完了1時間前までに招集所に提出する。
    - ・招集完了後は、スタート時間10分前にスタート地点に集合し、最終コールを受ける。
  - (2) フィールド競技
    - ・招集完了後は、招集完了時間をめどに競技場所に集合する。
  - (3) 招集開始時刻および招集完了時刻は、当該競技開始時刻を基準とし、次のとおりとする。

	〈招集開始時刻〉	〈招集完了時刻〉
トラック競技	30分前	20分前
跳躍競技	40分前	30分前
(棒高跳のみ	60分前	50分前)
投てき競技	40分前	30分前

## 6 競技場所への移動と解散について

### (1)トラック競技

- ① 最終コールはスタート地点集合時間以降に実施する。最終コールを受けていない選手は競技に参加できない。
- ② スタート練習は、スタート地点集合以降、役員の指示に従って行うこと。

### (2)フィールド競技

- ① 招集開始以降すみやかに競技場所に移動し、競技終了まで競技役員の指示に従って競技場内で練習を行うこと。競技場以外での投てき練習は一切禁止とする。
- ② 特に、投てき競技については危険をとまなうので勝手な行動はつつしむこと。競技前、競技中の練習で利用できる器具はタオル等、人に危害を加えないものに限る。やりの突き刺し練習、砲丸の打ち付け練習は禁止する。
- ③ 退場は、跳躍および投てき競技役員の指示・誘導により行う。

## 7 走路順・試技順について

- (1)トラック競技の走路とフィールド競技の試技順は、プログラム記載の番号順とする。
- (2)欠場者のレーン空ける。ただし800mは出発係の指示による。

## 8 競技について

- (1)トラック競技はすべてタイムレースとする。1/100秒単位で同タイムの場合は、1/1000秒単位で判断する。
- (2)セパレートレーン使用の競技では、フィニッシュした後も他の競技者の安全のために、自分に割り当てられたレーン(曲走路)を走るものとする。
- (3)同一選手がトラック競技とフィールド競技を同時刻に兼ねて行う場合は、トラック競技を優先とし、フィールド競技は同一ラウンドにおいて競技役員の許可を得て順序を変更することができる。
- (4)記録会におけるフィールド競技種目の試技はすべて3回とする。小学生は友の会ルールにより2回とする。
- (5)フィールド競技における競技開始前練習は競技役員の指示によって行う。
- (6)三段跳の踏切板は男子10m、女子7m・9mで行う。ただし審判長の判断で変更することもある。

## 9 走高跳・棒高跳のバーの上げ方については下記のとおりとする。(変更もあり得る)

### 中学生

男子走高跳(練 1.15 1.45) 1.20 1.25 1.30 1.35 1.40 1.45 1.50 1.55 1.60 以後3cm  
男子棒高跳(練 1.80 2.80 3.60) 1.80 2.00 2.20 2.40 2.60 2.70 2.80 2.90 以後10cm  
女子走高跳(練 1.10 1.30) 1.10 1.15 1.20 1.25 1.30 1.35 1.40 1.45 1.50 以後3cm  
女子棒高跳(練 1.80 ) 1.80 1.90 2.00 2.10 2.20 2.30 2.40 2.50 2.60 2.70 以後10cm

### 一般高校

男子走高跳(練 1.45 1.65) 1.50 1.55 1.60 1.65 1.70 1.75 1.80 1.85 1.90 以後3cm  
男子棒高跳(練 2.40 3.20 4.00) 2.60 2.80 3.00 3.10 以後10cm  
女子走高跳(練 1.10 1.45) 1.15 1.20 1.25 1.30 1.35 1.40 1.45 1.50 1.55 以後3cm  
女子棒高跳(練 1.80 2.60) 1.80 1.90 2.00 2.10 2.20 2.30 2.40 2.50 2.60 以後10cm

## 10 競技器具について

競技に使用する器具は、すべて主催者が用意したものを使用する。ただし「棒高跳用ポール、やり」については個人所有のものを使用を認める。「やり」は競技開始2時間前から1時間前に本部にて検査を受けること。

- 11 スパイクピンの長さは8mm以下とする。ただし走高跳・やり投は12mm以下とする。
- 12 氏名等がプログラムの印刷と異なる場合は、早めに本部の庶務担当に申し出て訂正してもらうこと。
- 13 上訴にあたっては、記録が記録発表用twitterに掲載された時間を基準とし、30分以内に申し出ること。

14 競技中に生じた事故については、応急処置はするが以後の責任は負わない。

15 陸上競技場の使用について

(1) 清掃・ゴミ処理は、各団体・学校・各自で責任をもって行い環境美化に努める。

ゴミ問題は、深刻な状況です。各自「ゴミの持ち帰り」をお願いします。現在、競技会終了後の「清掃・ゴミ処理」は、一部の学校の生徒の奉仕活動により行われていますが、その労力は多大なものとなっています。他人に迷惑にならないよう互いに気を配り、自宅への持ち帰りにご協力ください。

(2) 各団体の控え場所は、芝生スタンドのみ使用可とする。

(3) 競技者は管理棟内のトイレの使用を禁止する。スタンド下のトイレを使用すること。

16 ウォーミングアップについて

(1) 競技開始前のウォーミングアップは競技開始15分前までとする。競技開始前のウォーミングアップは長距離が1・2レーン、ハードルは7・8・9レーンを使用する。ハードルを使った走練習はトラック以外では禁止する。ウォーミングアップ時のジョギングに関してはトラックの内側で競技会準備の支障にならないように行うこととする。集団でのジョギングは禁止する。

ホームストレートと第4コーナー出口付近では接触の危険性が非常に高いので、係の指示に従うこと。

(2) 競技中のトラック使用のウォーミングアップは下記の条件付きで認める。

① 場 所：第1曲走路の中間地点から200mのスタート地点手前。完全に停止すること。

② レーン：6、7、8レーン

③ 可能な種目時間帯：50m、100m、80mH、100mH、110mH、1500m、3000m、5000m

④ 種目間、組間の空白時間帯で準備に支障をきたさない時。

17 監督・コーチ・顧問は競技中にカメラ・ビデオの映像を競技に支障がないようにスタンドから見せることができる。ただし競技場に持ち込むことはできない。もし競技に支障をきたした場合は直ちに禁止とする。

18 その他

・記録の発表は上位競技者のみ放送にて行う。記録の掲示は行わないが、尾張陸上競技協会の記録発表用twitter(「尾張陸協記録速報」@owarikiroku)に期間限定で掲載する。なお、後日、リザルトを愛知陸上競技協会HPに掲載する。

・発熱者が発生したときは、迎えが来るまで競技者控室にて待機させる。

・ゴミは必ず各自で持ち帰り、自宅で処分する。

・その他、競技役員の指示があった場合はその指示に従う。

※撮影する場合は、本部で許可を取り、許可証を携行すること。

◆選手の人権保護の観点から、写真・ビデオ撮影について、以下の点にご協力ください◆

監督・コーチ・顧問以外の写真またはビデオ撮影について

※保護者および本人の了解がない撮影を禁止します。

※撮影を許可するエリアは、スタンドのみとします。禁止された区域では撮影はできません。その他にも、以下の場合の撮影を禁止します。

・選手がスターティングブロックの足あわせをしたり、試技を待っていたりしている間や、身体を動かしたりしているなどの準備を行っているとき。

※また他者に著しく迷惑をかける行為として主催者で判断した場合は、すみやかに警察および関係機関に連絡します。